

チャレンジ

年 組 番 名前

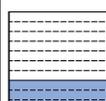


1 はなこさんは、 $0.3+0.5$  について次のように考えています。

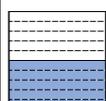
【はなこさんの考え】



を1とすると



は  $\rule{1cm}{0.4pt}$  が3つ分



は  $\rule{1cm}{0.4pt}$  が5つ分

$0.3+0.5$  について、

$\rule{1cm}{0.4pt}$  のいくつかを考えると、 $3+5=8$  という整数のたし算に表すことができます。

$\rule{1cm}{0.4pt}$  の8つ分なので、答えは、0.8です。

【はなこさんの考え】の中の、1つ分の大きさの  $\rule{1cm}{0.4pt}$  は、どれも同じ大きさで次のように説明することができます。

1つ分の大きさの  $\rule{1cm}{0.4pt}$  は、 を表しています。

に入る数を答えましょう。(答)

※うらに答えがあります。答え合わせをしましょう。

正解の人は2へ進み、不正解の人は、うらのステップ1で確かめましょう。



2 はなこさんは 1 で考えたことをもとに、0.1 より小さい小数のたし算でも同じように考えると、整数のたし算にして考えることができるのではないかと考えています。

【はなこさんの考え】

たとえば、 $3.65+4.21$  だったら、  
 $3.65$  は、0.01 が 365 こ分  
 $4.21$  は、0.01 が 421 こ分だから、  
 $365+421=786$  で、  
 0.01 が 786 こ分になります。  
 だから、 $3.65+4.21=7.86$  です。



はなこさんは、小数のたし算を整数のたし算で考えるために、1つ分の大きさをいくつにして考えていますか。

(答)

※うらに答えがあります。答え合わせをしましょう。

正解の人は3へ進み、不正解の人は、うらのステップ2で確かめましょう。



3 はなこさんは、 $\frac{1}{5}+\frac{3}{5}$  のような分数のたし算でも、1, 2と同じように考えたと言っています。

【はなこさんの考え】



を1とすると



は  $\rule{1cm}{0.4pt}$  が1つ分



は  $\rule{1cm}{0.4pt}$  が3つ分

たとえば、 $\frac{1}{5}+\frac{3}{5}$  だったら、 $\rule{1cm}{0.4pt}$  のいくつかを考えると、

(答)



【はなこさんの考え】の続きを答えましょう。

※うらに答えがあります。答え合わせをしましょう。

正解の人も、不正解の人も、うらのステップ3で確かめましょう。

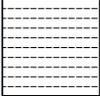
まとめ 小数、分数のどちらのたし算も、もとにする大きさのいくつ分とみることで、整数のたし算として、考えることができます。

1 の答え

(答) 0.1

→正解の人は表の2へ進み、  
不正解の人は下のステップ1で確かめましょう。

ステップ1

は、 を10等分した  
1つ分なので、0.1 です。

□小数のたし算は、0.1のいくつかを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。



2 の答え

(答) 0.01

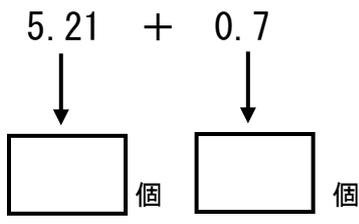
→正解の人は表の3へ進み、  
不正解の人は下のステップ2で確かめましょう。

ステップ2

はなこさんは、  
「3.65は、0.01が365こ分、  
4.21は、0.01が421こ分」と考えて  
いるので、0.01のいくつか分を考えてい  
ます。

【問題にちょうせんしよう！】

5.21と0.7は、それぞれ0.01を  
何個集めた数になりますか。  
□に入る数を書きましょう。

$$5.21 + 0.7$$


□小数のたし算は、0.01のいくつかを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。



3 の答え

(答)  
れい  
例

1+3=4という整数のたし算に  
表すことができます。  
 の4つ分なので、  
答えは、 $\frac{4}{5}$  です。

→正解の人も、不正解の人も  
下のステップ3で確かめましょう。

ステップ3

は、 を5つに分けた  
1つ分の、 $\frac{1}{5}$  をもとにして考えています。

□分数のたし算は、もとにする分  
数のいくつかを考えると、整  
数のたし算にして、計算するこ  
とができます。

【1, 2, 3をふりかえろう】  
小数でも分数でも、( ) 大きさのいくつかとみることで、  
整数のたし算と同じように計算ができる。

